

咽頭結膜熱に気を付けましょう

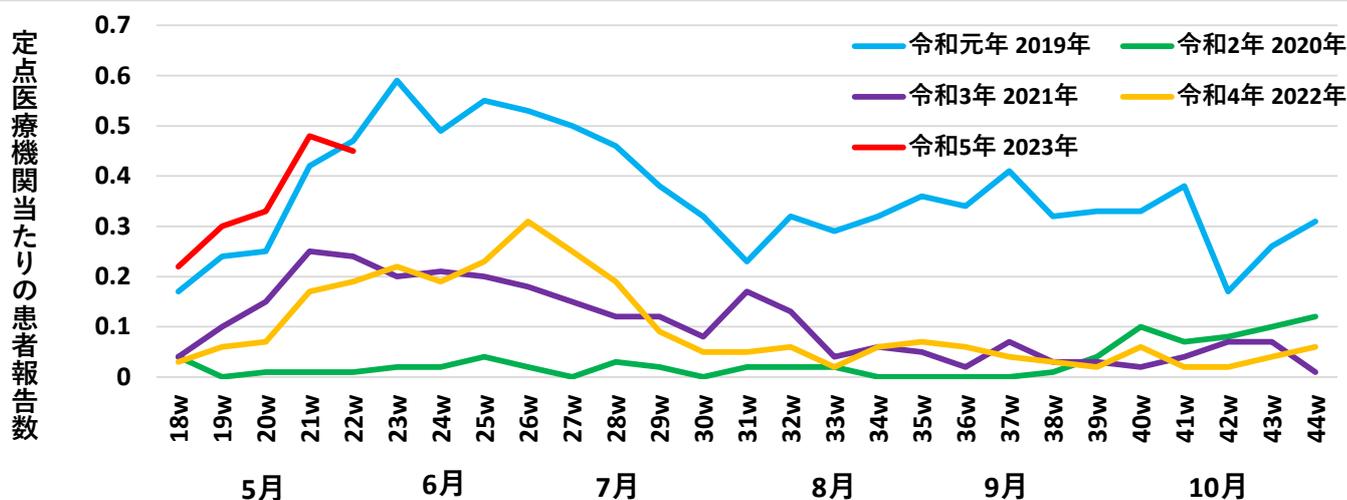
～神奈川県内の発生状況～

咽頭結膜熱は、毎年夏に学童を中心に流行し、発熱やのどの痛み、結膜炎をきたすウイルス感染症です。

2020年は新型コロナウイルス感染症の影響で、学校の休業やイベントの中止により、夏季も患者数は増加しませんでした。

2021年、2022年は2020年にくらべて接触の機会は増加しましたが、飛沫感染対策、接触感染対策が行われていたため、大きな流行はありませんでした。

神奈川県内における咽頭結膜熱の報告数



定点医療機関：一定の人口割合で定められた医療機関

咽頭結膜熱とは

| | |
|------|---|
| 原因 | アデノウイルス1、2、5型等 |
| 感染経路 | 飛沫感染・接触感染 |
| 潜伏期間 | 約5～7日間 |
| 症状 | 発熱、のどの痛み、結膜炎 |
| 治療 | 特別な治療はありません。 ワクチンはありません。 |
| 登校基準 | 主要症状が消えてから2日が経過するまで出席停止。ただし病状により伝染の恐れがないと認められた時は登校可能。 |

咽頭結膜熱の対策は・・・

- 1 マスクを着用する！**
症状があるときはマスクをする。
- 2 手洗い、消毒をする！**
手洗いをこまめに行い、食器やテーブル、おもちゃなどを消毒する。タオルを共有しない。



神奈川県衛生研究所 企画情報部 衛生情報課
電話：0467-83-4400 FAX:0467-83-4457
<https://www.pref.kanagawa.jp/sys/eiken>

(令和5年6月作成)